

生活者ネット こくぶんじ No.168 2023年7月

発行/国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者/田中由紀
連絡先/〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員
たかせ
高瀬かおる



国分寺市議会議員
こさか
小坂まさ代



国分寺市議会議員
まつおか
松岡まり

原因の究明
多摩地域の場合、米軍の横田基地で2010〜17年にPFASを含む泡消火剤が3〜6リットル以上漏出していたという報道により、2019年に東京都が多摩地域の飲用井戸などを検査し汚染がわかりましたが、原因の特定にはいたっていません。基地がない地域の汚染もあり、それぞれの地域で専門家による調査が必要です。

全国現状把握
人体への影響と地下水・土壌など自然環境への影響を調査する必要があります。汚染が発覚している地域で希望する人の血液検査を実施すると共に、全国規模のモニタリング調査で汚染がない地域と比較して分析しなければなりません。各地の地下水や土壌の採取による分析も必須です。

国の基準設定
今後、汚染をひろげないためにも、PFAS濃度や使用について一定の明確な基準を設定し、抑制しなければなりません。PFASは数千種類あり、代表的なPFOAとPFOSについて、国は2020年に、毎日2リットルの水を飲んでも健康に影響ないレベルとして、水道水質の暫定目標値を2つの合計で1リットルあたり50ナノグラム(ナノは10億分の1)としました。しかし米国では1リットルあたり各4ナノグラムとすることが検討されています。日本も早急に安全基準を設け、定期的に検査することが必要です。

地下水保全の重要性
東京都は2019年以降、高濃度のPFASを検出した多摩地域の井戸40か所からの取水を停止し、水道水の汚染は暫定目標値以下になっているとしていますが、水道水の安全性を確保することは当然ですが、地下水を止めれば済むということではありません。地下水は健全し動植物が生きやすい潤いのある地球環境の保持が重要です。雨水がしみこむ大地を残すことも必要です。
化学物質汚染は利便性を求める私たちの生活によるもので、行政に対策を求めていきましょう。

**市民の力で行政を動かそう
国・都は化学物質汚染への早急な対策を！**
PFAS(有機フッ素化合物)による汚染が日本各地で判明し、マスコミも取り上げることで大きな問題となっています。国分寺市でも市民団体が寄付金を集めて実施した血液検査で、参加した市民がいずれもPFAS濃度が高い数値だったことから、関心が高まることも不安も広がっています。

要です。また、基準を設ける際には、成長期の子どもに対する影響を考慮した数値にすることも重要です。
以上について国は予算を計上して早急に取り組むべきです。アメリカではすでに約100億ドル(1兆4300億円)の予算で対策が取られています。環境省の下に発足したPFAS対策の「総合戦略検討専門家会議」が2023年1月・3月・6月に開催され内容が環境省のホームページに公表されています。具体的な対応策の提案が待たれます。

**市民参加の窓口が広がりました ～新たな体制で議会活動スタート
会派「国分寺・生活者ネットワーク」結成**
4月の国分寺市議会選挙の投票率は49.29%で前を上まわり、政治を変えたいという有権者の期待を反映し、新人・若者が多く当選。国分寺市議会の平均年齢は48歳と若返りました。生活者ネットでは3人全員が当選し、4年ぶりに独自会派を結成してのスタートです。
子ども、介護や医療、公園や環境、道路のこと、日々の暮らしの問題は政治につながっています。国分寺・生活者ネットワークは、これからも市民の「声」と「参加」の窓口であり続けます。



高瀬かおる：監査委員、総務委員会、公共施設等総合管理特別委員会他/小坂まさ代：議会運営委員会、厚生文教委員会(副委員長)、新庁舎建設等特別委員会他/松岡まり：建設環境委員会、新庁舎建設等特別委員会/岩永やす代(都議会議員)

「ベンチがあったらいいな」の 声を実現したい!

高齢の方から移動に関する困りごとをお聞きします。国分寺市では、交通不便地域にぶんバスを走らせ、商工会の移動販売車による出張販売などを行っています。そこまで歩いていくことが難しい方もいます。そこで、「ベンチのあるまちづくり」を提案しました。



実際に玄関前に「誰でもどうぞ」とベンチを置いているお宅を見かけますが、道の途中にほんの少し休める場があることで、さらに自分の足で歩いて行ける範囲が広がります。また、高齢者だけでなく、子育て世代など、多世代のコミュニケーションのきっかけにもなるでしょう。



一方で、ベンチを置くことに不安を感じる方もいらっしゃいます。地域の方とまちを歩き、維持や管理についても話し合い、無理のないかたちで工夫することが大事です。数か月に1回は塗装し、誰彼となく集まっておしゃべりをする拠点になっている他市の事例もあります。他の自治体の取組なども参考に、国分寺ならではの移動支援の充実とコミュニティの創出を合わせ持った「ベンチのあるまちづくり」を進めていきたいと思えます。



(高瀬かおる)

「ひとこと提案」のお願い

みなさまからの「ひとこと提案」をもとに、国分寺市と東京都への政策提案や予算要望を毎年行っています。いつでもお気軽にご意見や提案をお寄せください。

こどもよう



こどものみなさん
「いいな」や「こまった」を
きかせてください

一般用



ひとこと提案を
募集しています

アンケート用紙もありますのでご連絡いただければお送りします。

kokubunji@seikatsusha.net ☎ 042-328-1878

このレポートは、UDフォントを使用しています。

国分寺ネット活動日誌

- 4月4日(火)オープン事務所「マサーヨがきく」
- 4月8日(土)学習会「大事にしてきた国分寺の水がピンチ!〜 PFOS・PFASによる地下水汚染が判明」開催
- 4月26日(水)選挙報告会開催/「野川最上流部の整備計画を1000日で実現する会」参加
- 4月27日(木)放射能測定/「居住支援を考える国分寺の会」参加
- 5月22日(月)放射能測定
- 5月24日(水)「PFASに関する地域ネット連絡会」参加
- 5月25日(木)「野川最上流部の整備計画を1000日で実現する会」と「国分寺市緑と公園課」の懇談に参加
- 5月27日(土)「(仮称)国分寺市リサイクルセンター施設整備基本計画」(案)パブリック・コメント市民説明会参加
- 5月31日(水)市内湧き水の流量調査参加
- 6月4日(日)全国川の一斉調査で野川の水質調査に参加
- 6月11日(日)国分寺市民憲法教室「戦争ではなく平和の準備を」参加
- 6月12日(月)「(仮)プラスチック廃棄物の減量及び再利用の推進基本方針」(案)パブリック・コメント市民説明会参加
- 6月17日(土)「原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち」上映会参加
- 6月18日(日)居場所「にわには」オープンデー参加
- 6月19日(月)放射能測定/市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 6月20日(火)地域協議会3か年計画づくりワークショップ参加
- 6月24日(土)国分寺マルシェ参加
- 6月26日(月)「居住支援を考える国分寺の会」参加
- 6月28日(水)「PFASの汚染を考える国分寺市民の会」と懇談
- 7月4日(火)元町用水の現地調査/北多摩北部建設事務所との懇談
- 7月19日(水)介護保険学習会